

安佐南区の人口 / 244,055人 (608人減)
安佐南区の世帯数 / 108,430世帯 (945世帯増)
令和4年8月末現在 (前年同月比)

あさみなみ



お米を食べて 農家を応援

新米の季節になりました。おいしい米の産地、戸山地区の農家の取り組みを紹介します。
園農林課 (☎831-4950、☎877-2299)

市内には「よしやま」「戸山の郷中王」「ほなみ」と三つの農事組合法人があり、その全てが自然豊かな戸山地区に集まっています。三つの同法人は、代表会議で情報交換をするなど協力しながら米などの栽培に取り組んでいます。

豊かな自然に囲まれてできるおいしいお米



「よしやま」の代表理事である野稲正至さん(上写真)は平成26年に農事組合法人の組合員になり、2年前に代表理事となりました。「東郷山から湧き出したミネラルたっぷりの清流水を使って米を作っています。戸山は標高が高く、昼夜の寒暖差が大きい。その環境で作る米にはうま味が凝縮しているんです」。そう胸を張る野稲さんは活動中にさまざまな課題が見えてきたと話します。

「日本の米の自給率はほぼ100%にも関わらず、家庭での消費率は年々減少傾向にあります。厳しい状況の中、役員も高齢化し、なかなか次世代の担い手も見つかりません。資材などの価格も高騰したりと悩みは尽きませんね」

スマート農業の導入

直面した課題の解決に向けて、野稲さんは今年度から新しいチャレンジを始めています。

「一つはドローンでの肥料などの散布です。真夏時の作業は大きな負担でしたが、ドローンを活用すると、密を避けながら少ない



人数で短時間に作業を終えられます」。若手がドローンに興味を持ち、そこから農業へ関心に向けてもらうことも期待できるそうです。



次に、鶏ふんの肥料利用です。農協から話があり、試験的に使用し始めたとのこと。「肥料費が高騰する中、経費が抑

えられるし、資源循環にもなる。SDGsにもつながる取り組みですよ。最新型の農業機械も導入し、人員や作業の省力化に努めています」

お米を食べてほしい

逆境を乗り越えるためにさまざまなチャレンジをする野稲さん。その活力の源は消費者の声だと話します。「戸山の米を食べた人から『おいしかった！ ほかの人にも食べてみんないって勧めといたよ』という声を多く寄せられますが、やはりうれしいですね」

丹精込めて作った米を食べてもらうことが農家の励みになるので、米をたくさん食べてほしいと力強く話してくれました。



oishi 吉山
Domaine EVENTOS

戸山のお米はおいしいと評判！リピーターが続出しています



戸山で作られたお米はおいしい Oishi吉山で販売されています。(沼田町吉山942-1、☎830-4141)

有害鳥獣にご注意を

シカやイノシシ、サルなどの野生動物による農作物への被害が深刻化しています。被害をなくすためには、野生動物を寄せ付けない環境作りが大切です。

エサ場をなくそう

収穫せずに放置した野菜や果物、生ごみなどが野生動物を引き寄せています。無意識な餌付けをなくしましょう。



農地を囲おう

ワイヤーメッシュや電気柵などの防護柵で、農地への侵入を防ぐのが効果的です。土地に合った資材を選び、隙間や柵の下から潜り込めないように設置しましょう。

隠れ場所をなくす

野生動物は基本的に憶病です。農地周辺の森ややぶ、耕作放棄地などは安心して農地に近づける隠れ場所。草刈りや伐採をして隠れ場所をなくしましょう。

有害鳥獣駆除にご理解を！



区では、地元猟友会の協力を得て有害鳥獣駆除班を編成し、駆除を実施しています。班員は目立つようオレンジ色のベストを着用し、事故防止に細心の注意を払い活動しています。ご理解とご協力をお願いします。

区民一丸と
なってスタジ
アムで応援し
ましょう！



安佐南区民応援デー 10月29日(土)北海道コンサドーレ札幌戦 15:00キックオフ

園エディオンスタジアム(バックゾーン自由シート)
大人2,500円、子ども(小・中学生と高校生相当年齢の)700円 ※抽選でサンフレッチェグッズプレゼント

10月11日(火)までに、所定の申込書とチケット代金を地域起こし推進課へ。申込書は区ホームページ、区役所、区内出張所、公民館などで。電話、Eメールでの申し込みも可
園同課(☎831-4926、☎877-2299) Email:am-chiiki@city.hiroshima.lg.jp